

大人への一歩 喜びと決意を胸に進む未来

1月7日、文化センターで成人式を開催しました。今年度、市では451人が大人の仲間入りをし、新成人403人が出席しました。華やかな振袖姿、精悍なはかま姿やきりっとしたスーツ姿で会場へと集まった新成人たち。式の開始前には、級友たちとの久々の再会を喜び合い、記念撮影などをする姿が各所で見られました。式の第一部アトラクション「恩師からのビデオレター」では、恩師たちからのお祝いのメッセージに、声を上げて喜ぶ新成人たちの姿も。第二部の式典では、浅田市長の式辞に続き、新成人代表として池松みなみさんの「真つすぐ前を見つめ、私たちに一生懸命生きていきます」との謝辞に、新成人たちは気持ち新たにしました。式の最後、恩師がステージに登場するサプライズもあり、会場は歓声に包まれ、記念写真の撮影で幕を閉じました。

新成人の皆さん、希望を胸に、それぞれの夢の実現へ向けて一歩一歩進んでください。



【司会】
鶴崎寿樹さんと松崎ひなみさん

20歳の抱負



謝辞



新成人代表
池松みなみさん

今日までの20年間、長かったという気持ちとあつという間だったという気持ちと同時に溢れてきます。楽しかったこと、悩んだこと、笑いあったことや涙を流したことも、全てがあるから今の私たちがいるのだと思います。そして、家族や先生、仲間たちの支えがあったから私たちは前進することができました。

私は中学3年生の時、市の代表として「荒尾・上海二十一世紀的朋友」に参加しました。上海に行ったことで、日本では経験することのできない文化や風習、考え方の違いを知ることができました。これからは、世界中の国の人々と交流を持つ時代になります。海外との交流を通してさまざまな考え方や知識などを吸収し、そこで得たものを故郷の荒尾に還元し新たな風を起すことでもっと活性化していきたいです。

未来は不透明なものです。今までに経験したこともないような壁にぶつかるかもしれません。そこでくじけずに、一歩一歩着実に前へ進んでいきます。これからは私たちが私たちの経験や思いを次の世代へと繋いでいく番です。真つすぐ前を見つめ、私たちに一生懸命生きていきます。もし、私たちが間違った道に進もうとしたときは、そつと正しい道を教えてください。これからは皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。